

みんなでつくる伝統、未来 水彩都市・江東

江東区長期計画

平成 22 年度
▼
平成 31 年度





未来に向けた
新たなまちづくりが
始まります

江東区長
山崎孝明

江東区は、豊かな水辺と緑に囲まれた美しい水彩都市です。下町情緒が色濃く残る一方、臨海部においては東京の新しい顔となるまちづくりが着実に進展しており、日本一とも言いうる人口増を続けています。また、平成21年に実施した区政世論調査では、9割以上の区民が江東区に住み続けたいと回答しており、心温かな人情味にあふれ、新しい時代を切り開く元気な区民がいきいきと活躍する魅力あふれるまちです。

一方で、江東区には、更なる緑化や温暖化対策、医療資源の不足、保育所待機児童の解消など、多くの課題が山積しています。

このような課題に的確に対応し、未来に向かって発展を続ける江東区の都市像を明確にするため、本区は昨年3月、多くの区民の皆さんのご協力を得て、新たな基本構想を策定いたしましたが、この基本構想を具体化させる10か年の総合計画として策定し

たものが、江東区長期計画です。基本構想が掲げる江東区の将来像「みんなでつくる伝統、未来 水彩都市・江東」にふさわしい長期計画とするため、策定にあたっては、区民の皆さんのが意見を表明できる機会をこれまでになく多く設けました。長期計画には、区民の皆さんからいただいた貴重なご意見が数多く反映されています。

まちづくりの主役は、言うまでもなく区民お一人お一人です。区は区民の皆さんとともに、スピードと意欲、思いやりを持って全ての人が生き生きと暮らせるまちの実現に取り組んでいきます。

未来に向けた新たなまちづくりに、ぜひご参加ください。そして、区民が誇りとするまちをこどもたちに残そうではありませんか。

区民の皆さんのご協力とご理解を心からお願い申し上げます。





区民はまちづくりの主役であり、
区民と区はともに責任を持って
江東区をつくります

あふれる緑と豊かな水辺に囲まれ、すべての区民が地球を思いやるまちになります。



こどもが健やかに育ち、明るくのびのびと学べるまちになります。



一人一人の個性が活かされ、内外から人が集う、活気あふれるまちになります。



誰もが互いに助け合い、安心して生活できるまちになります。



安全性、快適性、利便性を備えた、世界に誇れるまちになります。





未来の江東づ

江東区長期計画 前期

緑・

伝統、未来

水彩都市・江東

子育て・
教育

健康・福祉

水辺と緑に彩られた魅力あるまちの形成

- 区立公園において、毎年2,000m²の芝生化を実施するほか、校庭の芝生化を推進します。
- 街路樹を10年間で倍増させます(5年間では約1.5倍)。
- 屋上緑化や壁面緑化、生垣緑化等、区民・事業者・区が一体となって緑化を推進します。
- 区民農園を新たに1施設、水辺・潮風の散歩道を新たに約1,900m整備します。

安心してこどもを産み、育てられる環境の充実

- 認可保育所12園、認証保育所40施設を新たに整備し、待機児童の解消を目指します。
- 非定型一時保育実施園を9園から14園に拡大します。

知・徳・体を育む魅力ある学び舎づくり

- 小学校4年生及び中学校1年生の全学級に学力強化講師を配置します。
- 小1プロblem・中1ギャップの防止のため、小学校1年生、中学校1年生に支援員を派遣します。
- 不登校対策を充実させ、不登校児童・生徒の出現率の減少を目指します。
- 人口増に対応するため、新たに有明小学校、有明中学校、(仮称)豊洲西小学校を整備します。

子どもの未来を育む地域社会づくり

- 放課後子ども教室(げんきっず)と学童クラブを連携・一体的に実施する「江東きっずクラブ」を、平成31年度までにすべての小学校で実施することを目指し、計画的に整備します。

健康で安心して生活できる保健・医療体制の充実

- 小児医療や周産期医療、救急医療等に重点を置いた「女性とこどもにやさしい」総合病院を豊洲地区に整備し、平成25年度中の開院を目指します。

誰もが自立し、安心して暮らせる福祉施策の推進

- 特別養護老人ホーム1施設、介護老人保健施設1施設、認知症高齢者グループホーム10施設、小規模多機能型居宅介護施設4施設、地域包括支援センター3施設の整備を着実に進めます。
- 23区で初となる、認定こども園と高齢者福祉機能を備えた児童・高齢者総合施設との合築施設「グランチャ東雲」を整備します。
- 本区初となる障害者多機能型入所施設の整備を推進します。
- 区民が地域ぐるみで高齢者を見守るサポート地域を拡大し、高齢者の孤立を防ぎます。

長期計画の着実

- 区民の参画・協働を積極的に推進します。
- 行政評価制度の見直し、組織体制や事業運営手法の改革等、不断の行財政改革を推進します。
- 地方分権の推進や確固たる財政基盤の確立等により、自律した区政運営を実現させます。

くりに向けて における主な取り組み

環境

みんなで
つくる

まちづくり

産業・生活

- 地球温暖化防止設備の導入に対する助成や、区立施設への自然エネルギーの導入等を進め、江東区全体で平成17年度と比較して10%のCO₂削減を目指します。
- 区民・事業者・区の連携による5Rの取り組みを推進し、区民1人当たり1日のごみ量を、平成20年度と比較して約15%削減することを目指します。

環境負荷の少ない地域づくり

- 中小企業支援サイト「K-NET」等を通じて、企業間の情報交換や各種情報の受発信を支援します。

健全で活力ある地域産業の育成

- 文化学習施設や区民体育館、屋外区民運動施設、図書館、区民館等の改築・改修を計画的に実施します。

個性を尊重し、活かしあう地域社会づくり

- (仮称)江東区観光推進プランを策定し、地域資源を活用した新たな観光施策を展開します。
- 香取大門通り会でのレトロなまち並みの創設や、亀戸地区における観光拠点施設の整備を支援します。

地域文化の活用と観光振興

- 都市計画道路補助200・199号線(豊洲地区)を整備します。
- 新たに3路線の区道における無電柱化を実施します。
- 老朽化した橋梁の改修等を計画的に実施します。
- ユニバーサルデザインの考え方に基づき、区民・事業者・区が一体となって、すべての人にとって安心で安全なまちづくりを推進します。

快適な暮らしを支えるまちづくり

- 平成27年度までに区立施設を100%耐震化させることを目指し、計画的に耐震補強工事を実施します。
- 民間建築物の耐震化を促進するため、耐震診断、設計、改修経費の一部を助成します。
- 民間防災組織への支援等を行い、区民自らによる防災活動の強化を図ります。

安全で安心なまちの実現

な実施のために

- 区南部地域における人口増に対応するため、(仮称)シビックセンターを整備します。
- 緑化・温暖化対策推進のため、「江東区みどり・温暖化対策基金」を新たに設置します。
- 南北交通の利便性の向上のため、「江東区地下鉄8号線建設基金」を新たに設置します。



目 次

第①章 計画策定にあたっての考え方	1
I 長期計画の概要	2
1. 長期計画策定の背景	2
2. 長期計画の性格と位置づけ	3
3. 長期計画の体系と構成	4
4. 長期計画の期間	5
II 長期計画の前提	6
1. 計画人口	6
2. 財政計画	8
3. 都市計画	10
III 長期計画の視点	12
1. 協働	12
2. 地方分権	13
3. 行財政改革	14
4. 施設整備・改修計画	16
第②章 長期計画における重点プロジェクト	23
1. 南部地域における総合病院の整備	24
2. (仮称)シビックセンターの整備	25
3. 緑化・温暖化対策の推進	26
4. 子育て・教育環境の整備	27
5. 高齢者・障害者関連施設の整備	28
6. 南北交通の利便性の向上	29
第③章 長期計画における分野別計画	31
1. 水と緑豊かな地球環境にやさしいまち	35
2. 未来を担うこどもを育むまち	47
3. 区民の力で築く元気に輝くまち	65
4. ともに支えあい、健康に生き生きと暮らせるまち	83
5. 住みよさを実感できる世界に誇れるまち	97
◎計画の実現に向けて	113
第④章 長期計画における主要事業	121
資料	179